

3 和島地域 乗合タクシーの運行について

(1) 長岡市地域公共交通総合連携計画における基幹路線（路線バス）の考え方

【基幹路線（長岡駅と周辺地域を結ぶ路線）の目指す姿】

- どの地域からも、通勤、通学、通院、買い物の中心となっている長岡地域へ行き来できる環境の実現を目指す。
- 観光客等の来訪者が市内のどの地域へも行くことができる公共交通網を形成する。

【基本的方向性】

- 国・県の支援制度の活用と合わせて、市が適切な支援を行い、従来型の路線バスを維持する。

【ネットワーク】

- 長岡駅を中心核として各周辺地域を放射状に結ぶ骨格路線を基本に、従来型の路線バスを維持する。

【サービス水準】

[運行頻度]

- 需要に応じた運行頻度を基本とするが、概ね1時間当たり1本の運行を目指す。

[運行時間帯]

- 基本的に6時台から19時台の運行を確保し、ニーズの多い路線については、20時以降のバスも運行する。

(2) 乗合タクシーの運行目的

- 和島地域から、通勤・通学・通院・買い物の中心となっている中心市街地への公共交通による移動の利便性向上（増便）を図るため、朝夕の時間帯に小島谷駅前と与板地域を結ぶ乗合タクシーを運行する。

(3) 社会実験

平成23年10月～平成24年9月（実施中）

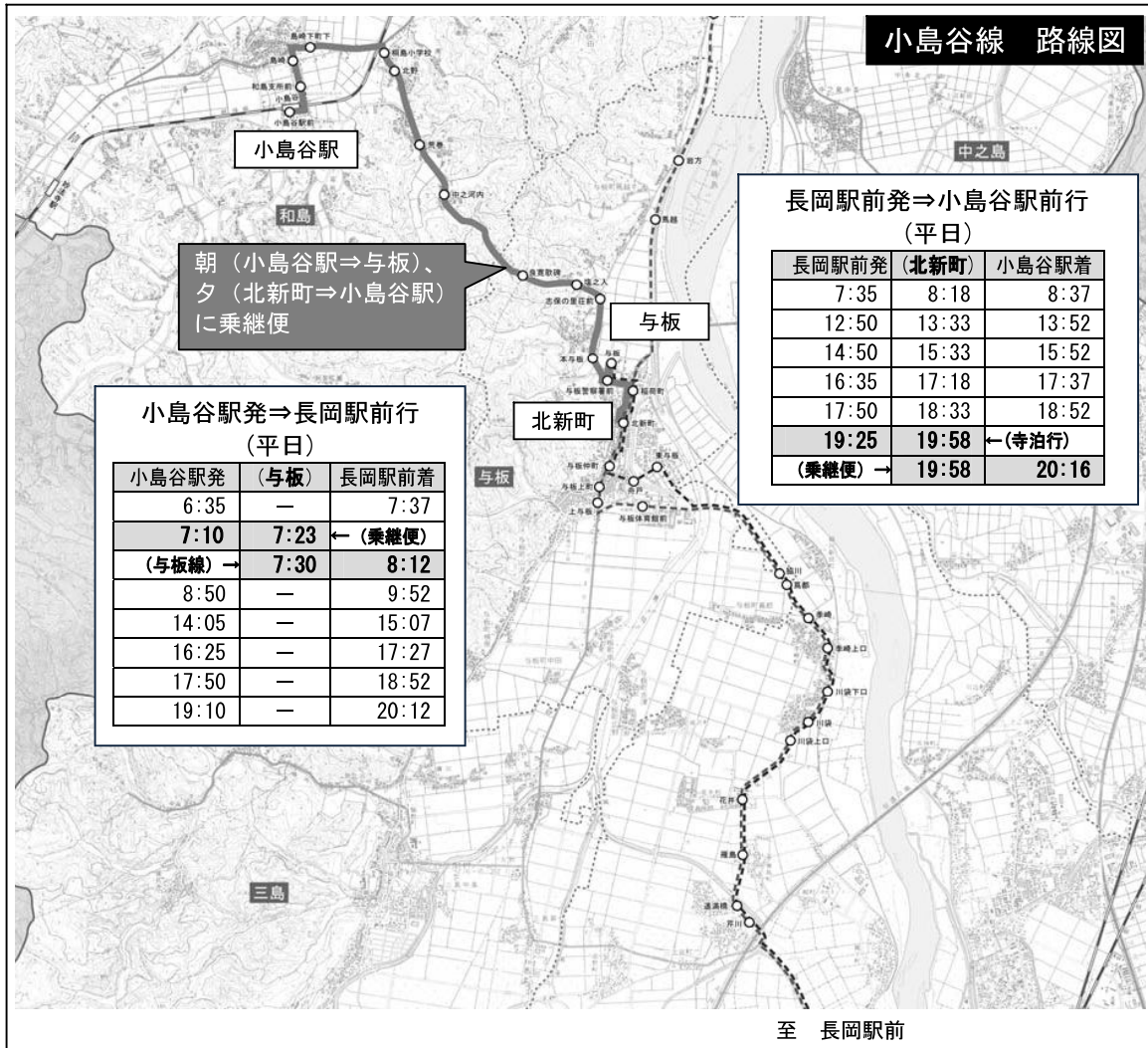
(4) 目標値

利用者数	・8人/日（4人/便）
------	-------------

(5) 運行経費

運行経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 便当たりの運行経費：4,150 円/便 ・ 1 日当たりの運行経費：8,300 円/日
------	--

(6) 乗合タクシーの運行経路（小島谷駅～与板）



(7) 社会実験結果

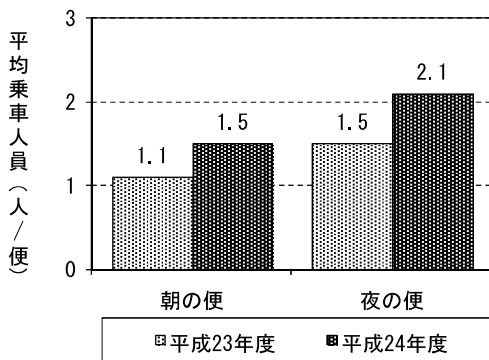
- 1便あたりの乗車人数は、目標の4人/便（8人/日）に対して、平成24年度では、朝便1.5人/便、夜便2.1人/便である。目標には届かないものの、運行見直しや新年度による利用者の変化により改善が見られる。
- 利用者無しの便も、平成24年度の3カ月では朝の便：8便（12.9%）、夜の便：10便（16.1%）であり、昨年度と比較して減少傾向となっている。

【利用者無しの便】

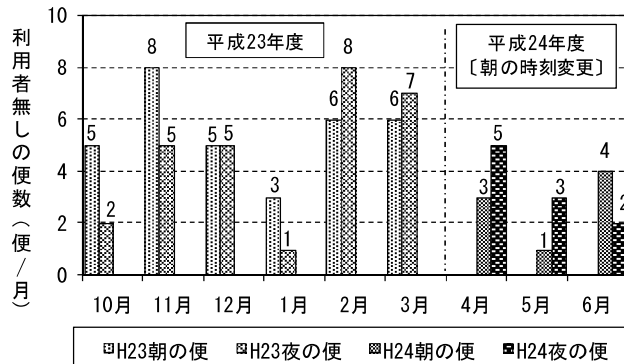
（H23.10～H24.3 朝夜各120便）朝便33便（27.5%）、夜便28便（23.3%）

（H24.04～H24.6 朝夜各62便）朝便8便（12.9%）、夜便10便（16.1%）

【平均乗車人員】



【各月の利用者無しの便】



※平成23年度（H23.10～H24.3）
平成24年度（H24.4～H24.6）

(8) 平成24年10月からの運行について（21条運行から4条運行への移行）

【運行について】

- 朝便、夜便とも継続して運行する。

【運行方法】

- 運行日：平日（朝、夜各1便）とする。
- 運休日：土日、祝日及び8月14日～8月16日、12月29日～1月3日
- 7月25日～8月30日、12月25日～1月10日、3月25日～4月5日は運休日を除き予約制とする。

【料金】

- 社会実験中と同様とする。

大人（中学生以上）200円、小学生100円、障害者100円、未就学児 無料
（ただし、乗合タクシーの乗車区間に対応する越後交通の路線バス定期券を掲示した場合は無料）

【運行事業者】

- 社会実験中と同様に与板タクシー、和島タクシー、寺泊交通の三者で運行する。